

Title	学会報告
Author(s)	
Citation	Anais : Colóquio de Estudos Luso-Brasileiros. 2024, 50, p. 84-86
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/98448
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

学会報告

2023 年日本ポルトガル・ブラジル学会大会

会場：京都外国語大学4号館, 433 教室 WEB 同時開催
日時：2023 年 10 月 14 日（土）14 時 00 分～

- 14:00~14:10 開会の辞
- 14:10~14:40 1910~30 年代リスボン（ポルトガル）における
アフリカ人の運動—発行新聞からその特質と位置づけを探
る一試論 矢澤達宏（上智大学）
- 14:45~15:15 リマ・バレットの短篇「ガブリエラの息子」にみ
る偽善へのまなざし 岐部雅之（京都外国語大学）
- 15:20 ~15:50 *A Demanda do Santo Graal* の直接話法における接
語代名詞の位置について 水沼 修（東京外国語大学）
- 15:55~16:25 提題：前置詞deの記述を考える
林田雅至（大阪大学名誉教授）
- 16:30~17:00 総会

総会議事録

次第

1. 会長選挙について
2. 2022-2023 年の会計報告および監査報告について
3. 『ANAIS』投稿規定及び執筆要項の改正について
4. 会費の納入について
5. その他

議事録

1. 議事の進行について
次第では会長選挙が冒頭にあるが、ルーティーン的な議
題から始め、会長選挙は、最後に行うとした。
2. 2022-2023 年の会計報告および監査報告について
事務取扱の黒澤が資料に基づいて会計監査の結果と学会
会計の管理状況などについて報告した。今回の監査は2022
年 3 月から 2023 年 9 月までで、吉野朋子監事による「会
計は適正に管理されている」という監査結果を黒澤が代理
で報告し、了承された。

3. 『ANAIS』投稿規定及び執筆要項の改正について

事務取扱の黒澤が『ANAIS』投稿規定及び執筆要項の改正について説明した。昨今、原稿のやり取りはほとんど電子的に行われるのが普通なので、投稿規定で印刷した紙媒体を事務局に送付とあるところを「PDFなどの形でメールの添付ファイルで提出」という形に改めた。また、電子的な形での公開が可能となるように「9. 掲載された論文等に関して、執筆者は電子化して公開・公衆送信する非独占的な権利を学会に対して許諾するものとする」条項を付け加えた。

学会誌の編集には編集委員会を設け、そこで査読者2名を決定し、編集にあたるという形にすべきであるという意見があった。これについては、新会長のもと理事を選任し、さらに編集委員会を設け、学会の執行体制を整備することとした。

4. 会費の納入について

事務取扱の黒澤が学会費の納入状況について説明した。この間の活動状況、さらに学会の会計状況などを考慮し、3年分くらいは免除するという提案である。ただし、払い続けている会員については、その分を将来に積み上げ、不公平がないようにする。これに関連していくつかの意見が出された。

意見に踏まえ、シニア会員や学生会員などについては次期執行部にゆだねるとした。会費の支払い状況は2016年あたりまではほぼ適切に管理しているので、会員間の不公平は生じない。総会では、最終的に3年分は免除するとした。

5. 会長の選出について

現会長が不在であるので、新会長を選出するため会員による選挙を行なった。なお、自薦、他薦による推薦を求めたところ、他薦で京都外国語大学の伊藤秋仁会員の推薦があった。選挙の結果は以下の通りである。

伊藤秋仁	12 票
吉野朋子	1 票

これにより、京都外国語大学教授 伊藤秋仁氏が、会長（任期：2年）に選出された。今後、新会長のもとで、理事会や編集委員会などの執行体制を整備していくこととした。また、事務局は京都外国語大学となる。

（文責：黒澤直俊）